

令和4年度 7月「学校評価アンケート」の分析「公表資料」

7月に実施した「学校評価アンケート」へのご協力ありがとうございました。本校が掲げている4つの「めざす生徒像」を実現させるための、具体的な取組についての結果と分析をお知らせいたします。

学校教育目標「豊かな心と向上心にあふれる生徒の育成」の達成に向けて

「めざす生徒像」づくり

【1. 自ら進んで学習する生徒】

・「見通し・ふり返る」で学習への意欲を感じている生徒

【2. 互いの良さを認め高め合う生徒】

・互いの良いところを見つけ伝え合うことのできる生徒

【3. 心と体を鍛える生徒】

・自律清掃で、自分の心を磨いている生徒

【4. ふるさとに誇りを持つ生徒】

・地域に誇りを持つ生徒



【1. 自ら進んで学習する生徒】

(質問5)「授業では自ら進んで課題に取り組んでいる。」

「よくあてはまる」「あてはまる」合計90% (生徒)

(質問6)「授業での学び合いを通して自分の考えを持とうとしている。」

「よくあてはまる」「あてはまる」合計96% (生徒)

「授業では自ら進んで課題に取り組んでいる」については4月の93%からやや減少しました。内訳を見ると「よくあてはまる」と回答している生徒の数値が4%増加しています。一方、「授業での学び合いを通して自分の考えを持とうとしている。」については4月の95%から微増しています。今年度は授業において交流後の学びを深めるための手立てを工夫して取り組んできたことで、自分の考えを持とうとしていることは成果だと思われまます。

(質問8)「学んだことをふり返ったり(復習)次の授業を見通した勉強(予習)を家でしている。」

「よくあてはまる」「あてはまる」合計87% (生徒)

(質問7)「おさんは家庭学習に自主的に取り組んでいる。」

「よくあてはまる」「あてはまる」合計74% (保護者)

家庭学習については、4月の81%から6%増加した結果となりましたが、内訳を見ると「よくあてはまる」と回答した生徒は4%と4月下降しています。特に1年生の肯定的な回答の割合の減少が顕著でした。一方で、保護者の「家庭学習に自主的に取り組んでいる」においては4月の74%と変わらない結果でした。1年生においては部活動が本格的に始まり、小学校と比べて帰宅時間も遅くなったこともあり、家庭での学習時間を十分に確保しきれなかったことが考えられます。ガリガリノートの質は年々高まってきております。今後は授業と家庭学習がつながり、主体的に考えて取り組むことができるよう指導していきます。

【2. 互いの良さを認め高め合う生徒】

(質問11)「友達の良い行いや長所を見つけることができる」

「よくあてはまる」「あてはまる」合計96% (生徒)

(質問12)「友達に対して、思いやりの心で行動している」

「よくあてはまる」「あてはまる」合計93% (生徒), 93% (保護者)

生徒同士が良いところを見つけ発表し合う「とりごえもんの羽」が定着してきており、他の人の良い行いを見つけようとする生徒の意識が高くなっていることが伺えます。今後も生徒一人一人の良さを認め自尊感情を育むとともに、他者への思いやりが自然と生まれるような場面を設けていく取組をしていきます。

【3. 心と体を鍛える生徒】

(質問15)「自律清掃(無言、見つけ)を意識して清掃に取り組んでいる。」

「よくあてはまる」38%, 「あてはまる」55% 合計93% (生徒)

自律清掃の取組に対する意識の高さが伺える数値となっていますが、「よくあてはまる」と回答した生徒は4月の38%と変わらず、昨年度よりも低い結果でした。生徒たちの様子を見る限りは清掃活動への取り組みは大変良好なので意識の問題だと思われます。今後は自律清掃(無言、見つけ)をする良さを生徒たち自身で考える機会を設け、主体的に「さあ、やろう」という取組なるようにしていきます。

【4. ふるさとに誇りを持つ生徒】

(質問16)「地域に関心を持ち、その良さを理解している。」

「よくあてはまる」32%, 「あてはまる」57% 合計89% (生徒)

(質問13)「地域に貢献したいと考えている。」

「よくあてはまる」「あてはまる」合計79% (生徒)

4月から「地域に関心を持ち、その良さを理解している」で3%減少、「地域に貢献したいと考えている」では1%増加したという結果でした。今年度は日本ジオパーク全国大会白山手取川大会に向け、1学期より総合的な学習の時間において手取川中流域の魅力について学習してきました。今後は体験を重視し、大会や文化発表会で自信を持って発表するとともに他の地域との比較を通して、豊かな自然環境に包まれたこの地域への愛着や貢献意欲を図っていききたい。

※10月6日に学校関係者評価委員会を開催し、本校が取り組んでいることに対する激励や広い視野から長期的な視点でのアドバイスをいただいたりすることができました。委員会に参加された方々のご意見を参考に学校教育目標の実現に向けた教育実践を図れるよう努めていきたいと思っております。